

学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立三郷工業技術高等学校		Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見	
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	専門学科の趣旨や特性を踏まえ、目指す学校像が設定されている。長年同じ目指す学校像が設定されているので、昨年度開校30周年を迎えたこともあり、新たなステージに向けて、学校の現状や寄せられる期待などをより広く把握・分析し、学校の特色や強みを生かした学校像を模索していただきたい。	
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	前年度から見直され、基礎学力向上に係る目標を最上位に設定し、その優先度を学校内外で意識するように工夫した。学校の置かれた状況などを把握した上で、中期的視点から、更に検討・整理して、より分かりやすい文言を用いた重点目標とすることが望まれる。	
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	学校全体のシートに基づいて分掌・学年・学科等のシートが作成され、その連鎖の確認も行われている。分掌・学科等の連携を更に図り、よく議論しながら、より具体的な評価項目や方策について検討・策定する体制を整備して、教職員全体の参画を促していただきたい。	
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	方策と評価指標を設定するに当たり、職員会議などで教職員間の共通理解が図られている。方策がやや網羅的で、評価指標が方策の達成状況を評価するものとは必ずしもなっていないので、取組指標と成果指標をうまく組み合わせ、達成イメージを共有できるような分かりやすい指標を設定することが望まれる。	
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	校長が精力的に校内を回り、教職員の教育活動状況を把握している。教職員一人一人を的確に生かし、組織力を高めようとする校長の意欲が感じられた。教職員の共通理解と参画意識を更に高め、学校全体が一丸となり、目標の達成を目指すことが期待される。	
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	年度評価や学校関係者評価などを基に、取り組むべき課題の共通理解を図っている。課題や次年度への改善策を明らかにするために必要なデータとなるように各種アンケートの工夫を進め、更に学校関係者の意見やアンケートの結果等をよく分析して、次年度のより具体的な取組につなげるようにしていただきたい。	
特記事項			